

相模原市オリジナル/
公共施設マネジメント学習ゲーム

おはようっ!

このゲームって何?

このゲームは公共施設を使って、相模原市が抱えている課題を解決していくゲームです。学校や公民館などの公共施設は、公共サービスを提供する場として、大切な役割があります。相模原市では、現在、人口減少や少子高齢化が進む中、時代の変化に合わせ、本当に必要な公共施設を維持していくため、『公共施設マネジメント』という取組により、その役割や使い方の見直しを進めています。

みなさんも、これからの未来の公共施設について、一緒に考えてみましょう!



ゲーム概要

プレイヤーの手持ちのカードと、場に出ているカードを組み合わせ、社会問題を解決するアイデアを考えるカードゲームです。

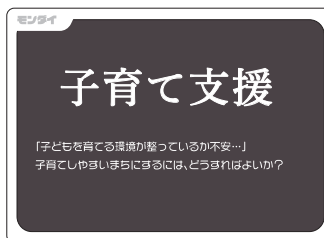
推奨プレイ人数: 4人(3人以上)

プレイ時間: 約30分

対象年齢: 小学校高学年以上



セット内容



社会問題カード*
20枚



市役所・区役所

市役所本庁舎や区合同庁舎、津久井地域の総合事務所など、市の窓口や事務所など様々な施設が入る建物です。市、区及び津久井地域などにおける行政運営の拠点として、日々所設置しています。

公共施設カード*
25枚



複合化

施設に別の施設を含ませて、ひとつの施設とすること。

マネジメントカード*
15枚



あじさい

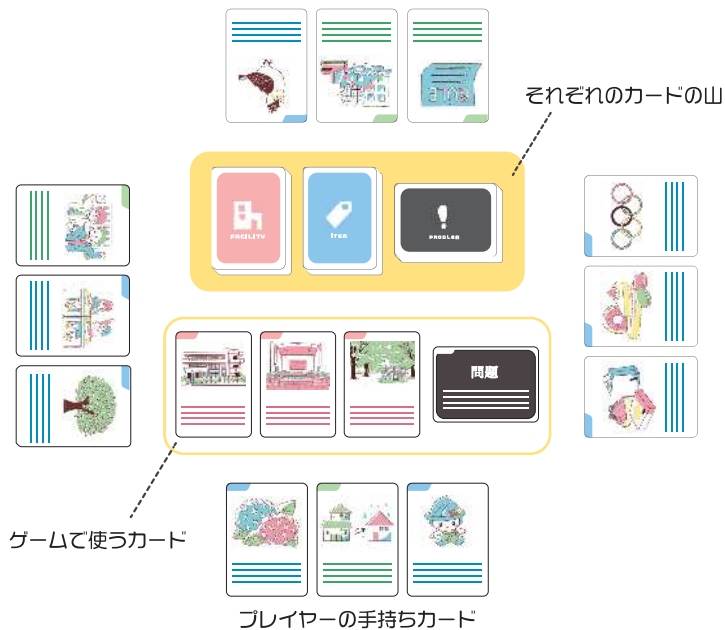
5月から7月にかけて花を咲かせる。土地の酸性度によって花の色を変える。和歌あじさいや浮気あじさいの花言葉を持つ。相模原市では昭和49年に市の花としてされ施設名にも使われている。

アイテムカード*
68枚

ゲームの準備

- (1)社会問題カード、公共施設カード、アイテムカード&マネジメントカードをそれぞれの種類ごとに混ぜ、3つの山をつくりふせて置きます。
- (2)ゲーム進行の順番をジャンケンで決めます。
- (3)社会問題カードを山から1枚、公共施設カードを山から3枚引いておもて面がみんなに見えるように中央に置きます。
- (4)アイテム&マネジメントカードの山から各自順番に3枚引き自分の手持ちカードとして、おもて面が見えるように自分の前に並べます。

カードの配置例



ゲームの進め方

- (1)場に出ている公共施設カードを1枚以上、手持ちカードを2枚以上使って、社会問題カードに書かれた問題を解決するアイデアを1分間で考えます。自分の手持ちカードにマネジメントカードがある場合、必ず1枚以上使ってください。3枚全てがこのカードの場合引き直すことができます。



アイデアのヒント

現実的に考えなくてもOK!自由に発想を広げてみよう。

(例)「スタジアム」で「ゆず」をイメージした「アイドル」のコンサートを行い、ファンに来てもらうことで『地域の魅力向上』を目指す!

- (2)1分後、順番に考えたアイデアを発表します。
- (3)1番いいアイデアだなと思ったものに1人1票投票します。最も得票の多かったプレイヤー全員が1ポイント獲得します。



※考えにくい場合は、公共施設カードの枚数を増やしてみましょう。
他の人のアイデア・自分のポイントをメモしながらやりましょう!

- (4)1度使ったカードは山に戻さず、まとめておき「カードを引く→アイデアを考える→発表する→投票する」を繰り返します。
先に3ポイント獲得したプレイヤーの勝利です。